

一般質問

質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

真鍋 順穂

①地球温暖化問題と本市の取り組み②クリントピア丸亀の施設更新③TPP対策本部の設置④飯山総合運動公園の施設管理

藤田 伸一

①子育て支援充実の取り組み②学校徴収金の公会計化③性的少数者の人権を尊重する取り組み

小橋 清信

①交通政策基本法をまちづくりにどう反映させるか②商店街への新たな集客とにぎわい創出③丸亀市職員提案制度④中津万象園御茶所母屋の保存継承

三谷 節三

①合併協定書関連②被災時の飲料水対策③ふるさと納税制度関連

水本 徹雄

①西日などによる信号機の疑似点灯現象への対策②本広監

督が持つ映画の力で丸亀創生の一助に③クラウドファンディング事業の取り組み④うちわの港ミュージアムを「まちの駅」に

携で丸亀創生を⑥市内公共施設のあり方

三木 まり

①丸亀市健康増進計画「健やかまるがめ21」②子供たちや若者たちの貧困問題

尾崎淳一郎

①ごみ行政②教育行政

福部 正人

①WiFiスポットの設置拡大②介護支援ボランティア制度の活用など③自殺対策④高齢者の就労環境の整備⑤丸亀駅前の活性化に向けた取り組み⑥近現代における偉人・賢人の顕彰と市政への活用

佐野 大輔

①猪熊弦一郎現代美術館・図書館の長寿命化計画②リノベーションまちづくり

加藤 正員

①「地方創生」と「未来を築く総合戦略」②地域担当職員制度③防災士

片山 圭之

①地方創生②教育問題

松浦 正武

①子供の運動能力の向上策

横川 重行

①幼少期からの食育・健康指導②いじめ問題

中谷真裕美

①障がい者福祉制度の改善②水道広域化の諸問題

内田 俊英

①次年度予算編成方針②重要業績評価指標（KPI）達成への提言

神田 泰孝

①丸亀スポーツロード（仮称）設置の考え②リボン運動の周知③市民の健康寿命を延ばす取り組み

議会だよりは、議員の質問の中から1項目を選び、質問・答弁の内容を要約のうえ掲載しています。

TPP

市対策本部設置を

真鍋議員 TPPは、本市農林水産業や商工業、市民生活に多大な影響を及ぼすこととなる。事業者や市民にとってマイナスをプラスに、プラスをさらに増幅させるためにTPP対策本部を設置する考えは。

市長 政府はTPP総合対策本部を設置し、総合的なTPP関連政策大綱を制定し、今後の方向性を示したところである。また、県も対策本部を設置し、地域経済への影響や効果の精査を進めている。

国や県のこれらの動向を踏まえ、本市も後手に回ることのないよう、年度内に全庁的なTPP対策本部の設置を検討する。



丸亀特産の桃

国は、国民生活に与える影響を明らかにし、不安や懸念を払拭するため、丁寧な情報提供と万全の対策を講じることとなっていることから、本市も関係機関と連携を密にし、市民への対応を図りたい。

市の証明書など 性別記載削除を

Q 藤田議員 心と体の性が一致しない性同一性障害の当事者に配慮するなどの理由で、性別欄のない印鑑登録証明書や住民票などを発行する自治体が全国で183に上っている。丸亀市も同様の観点から、申請書や市が発行する証明書などを精査し、様式を改めるべきと考えるが、市の考えは。

A 総務部長 本市も当事者の人権に配慮するうえで、市の主体的判断のもとに決定でき、かつ事務処理に著しく支障を来さないものについて、本人に記載をお願いする公的書類や市が発行する証明書などで、性別の記載を不要とすべきであると考えている。

そこで、まず現状を把握すべく、全庁的な洗い出し作業を行

い、可能な限り削除する方向で庁内周知するとともに、関係法令の精査と一連の作業とあわせて、順次取り組む。

イベントの集約で 大きなぎわいを

Q 小橋議員 丸亀駅周辺の商店街では、数年前から若者の発想を生かしたにぎわいづくりの催しが行われているが、大きな盛り上がりまでには至っていないと感じる。数多く行われているにぎわい事業やイベントを集約して、大きなにぎわいづくりにつなげられないか。

A 産業文化部長 最近では、市民を中心とした有志がさまざまなイベントを行い、にぎわいづくりに取り組んでいる。こうした



イベントでにぎわう商店街

イベントの情報を各種団体が共有し、一つのイベントとして周知、展開することができれば、より一層の集客が得られると考えられる。

今後は市が主体となつて、定期的に各種団体などの情報共有と意見交換の場を設け、各種団体が連携してより大きな盛り上がりを見せられるよう調整役を務め、より効果的なにぎわいづくり事業を実施したい。

市庁舎の建設地 合併時の協定は

Q 三谷議員 新丸亀市の基本となる合併協定書では、庁舎の建て替えは国道11号の南で候補地を選ぶとされているが、それに沿わない方向で建て替えの審議が行われている。協定書との相違について市はどのように考え、住民の理解を得ていくのか。

A 総務部長 新市庁舎の建設場所は、合併協定書の内容を考慮し、国道11号の南を含む複数の候補地の中から、市民の利便性や財政状況などの総合的な観点から最適な場所を選定することとした。アンケートによる市民

意識調査や審議会、市庁舎整備等特別委員会の意見を踏まえ、大手町地区を建設地とすることを市の方針とした。協定書の内容とは違った結果となったが、8月に市内4会場で説明会を行い、その際のアンケートでは9割近い人から賛成の回答をいただいた。今後も市民の理解を得られるよう努めたい。

映画の力を 丸亀創生の一助に

Q 水本議員 映画「UDON」や踊る大捜査線などで知られる、本市出身の映画監督で文化観光大使の本広克行氏の講演会や同氏作品の展示会を企画し、映画というジャンルを生かして丸亀創生の一助となる取り組みを行うてはどうか。

A 産業文化部長 映画という切り口で地方創生を図っていくことは、地域活性化施策の一つとして有効だと考える。平成28年は本広監督がディレクターを務めるさぬき映画祭10周年という節目の年であることから、この機会を逃さず、本広監督を中心に本市ゆかりの映画やドラマを

紹介する企画の本市開催について、県の映画祭実行委員会に働きかけたい。

また、本広監督に本市シティプロモーションフィルムの監督をしていただけないか相談するなど、地方創生の一貫としての取り組みを進めたい。

子供や若者支援 基金設置で

Q 三木議員 子供たちや若者たちへの教育支援を中心とした基金、(仮称)安心学び育ち基金を創設する考えは。

A 市長公室長 新しい時代を支えていく子供たちが自分たちの未来を切り開いていけるようにするためには、安心して生活できるといことが何よりも必要だが、わが国の子供の貧困状況は先進国の中でも大変厳しい状況にあり、本市でも重要な問題であると認識している。経済的な理由によって子供たちの将来が閉ざされることがないように、また人口減少社会の中で本市が持続的に発展していくためにも、子供や若者が安心して生活を送り、夢がかなうまちづく

りをしていく必要がある。議員提案の基金は、厳しい財政状況の中で今すぐ設置することは難しいが、子供の貧困対策として検討していく課題と考えている。

自由校区 制度見直しを

Q 尾崎議員 城南小学校区では、中学校への就学は南中か西中を選択する自由校区となっているが、ほとんどの児童が西中へ入学しているため教室不足が心配される。自由校区の制度を見直す必要があるのでは。

A 教育部長 平成13年頃から西中の生徒が減少する一方で南中の生徒は約900人で推移し、生徒数の差は最大400人になった。そこで平成19年から城南小学校区では就学する中学校について南中、西中を選択する選択区域とし、学校規模の適正化を図った。現在では南中の大規模校化も幾分か解消され、西中と南中の生徒数の差は縮まった。選択区域の導入は両校の規模の適正化に寄与したと考えられる。今後は少子化による生徒数

の減少が予想されるので、生徒数の推移や教室の過不足の状況などを見ながら選択区域の見直しを検討したい。

観光地や防災拠点に WiFiスポット設置を

Q 福部議員 無料で高速インターネット通信ができるWiFi-Fi (ワイファイ) スポットが市庁舎に設置されているが、設置箇所を観光地や防災拠点に拡大することで観光客の利便性向上や災害時の通信確保を図ることができると考える。設置箇所拡大について市の考えは。

A 産業文化部長 観光地へのWiFi-Fiスポット設置は新たな誘客や観光資源発掘につながるので拡充していくべきと考えるが、本市単独での設置には多額の費用がかかるため、比較的安価で設置できる県主導によるかがWiFi-Fiを活用し、観光施設を中心に設置拡充に努めたい。

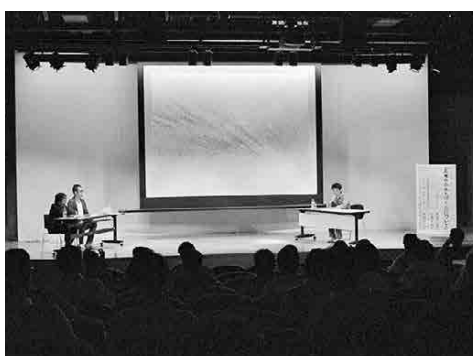
また、防災拠点への設置には、設備工費が膨らむなど、費用負担の増加が課題であるため、それぞれの防災拠点の状況

などを精査し、施設管理者や関係機関と引き続き協議したい。

リノベーションによる まちづくりを

Q 佐野議員 空き家や空き店舗を改修、活用するリノベーションをまちづくりに導入する考えはあるか。また、本市では若手職員のチームがリノベーションの講演会を開催するなど積極的に活動している。若手職員が活動を続けられる組織づくりを考えてみてはどうか。

A 市長 まちづくりにリノベーションを導入するには、空き家などの所有者と借り手が事業として成り立つ仕組みづくりを導入する必要がある。市としては



まちづくりシンポジウム

民間主導の計画が実現するよう
に、空き家などの情報提供や担
い手育成など必要なサポート、
既存の空き店舗などを実際に活
用する事業提案が示されるリノ
ベーションスクールの開催も検
討し、民間の事業が進むようサ
ポートしたい。市の若手職員は
部局を超えて積極的に活動して
いるので、縦割りにならず活躍
できるように組織や仕組みがで
きるようにしたい。

地域防災力 防災士育成で

☑ 加藤議員 災害では救助まで
の時間が生存率を左右するた
め、地域防災力が重要となる。
担い手となる防災士確保のため
の支援策の充実にについて伺う。

▲ 市長公室長 南海トラフを震
源とする震災が今後30年以内に
起こる確率が70%程度とされる
現在、従前より防災士育成のた
め資格取得に必要な経費の一部
を助成してきた。しかし、助成
開始から4年目の現在、地域間
での人員のばらつき、また自主
防災活動に十分な人員を確保で
きていない状況から、防災士の

増員が図れるよう人員不足のコ
ミュニティに対し、事業の周
知、啓発とともに、今後は支援
策の拡充も考える。

なお、助成は地域防災力の向
上を目的とし、防災士資格取得
後は地域の自主防災組織での活
動が前提であることから、対象
者は、コミュニティから推薦さ
れた人に限定している。

沿岸部再開発に 道の駅は

☑ 片山議員 観光の目的地のひ
とつとして、また、日々の買い
物など地元住民のほか地域外か
らの誘客などが期待でき、いわ
ゆる参加型施設として道の駅が
全国的に注目されている。さら
に、地方都市では中心市街地の
空洞化に伴う買い物難民対策で
も、道の駅は全国的に評価され
ている。この際、市として民間
事業者と協力し、地方の問題を
解決するという観点から、いわ
ゆるウォーターフロントビジョ
ンの目玉として道の駅を誘致し
てはどうか。

▲ 市長 ウォーターフロントは、
市のまちづくりや歴史を考えて

も、重要な地区であると認識し
ている。また道の駅は現在本市
にはないため、民間事業者から
提案されやすい土壌作りが重要
であると考ええる。
そういった中で現在進めてい
る立地適正化計画で、夢のある
形のある構想を検討したい。



ウォーターフロントエリア

小学生の体力向上 専門教員の配置で

☑ 松浦議員 ある調査によると、
小学生が、できなかった運動が
できるようになったきっかけ
は、授業中に先生にコツやポイ
ントを教えてもらったり、先生
や友達の間でまねをしたという回答
が多いということである。つま
り、これからはますます先生の

指導力、役割が重要となるの
で、小学校でも体育専門の先生
を配置することを考えてみては
どうか。

▲ 教育長 現在小学校はクラス
担任制であるが、中一ギャップ
解消のため、本市では小中一貫
教育の中で、中学校の体育の先
生が校区内の小学校に向いて
指導している学校群もある。

こういった状況の中で、専門
的な教科に関しては、専門の先
生が5年生、6年生を指導する
こともこれから展望として持つ
ことは可能なので、そういった
方法も取り入れていけるよう検
討したい。

いじめ発生 学校ではどう対応

☑ 横川議員 学校でいじめがあ
った場合、発生から収束するま
での間、先生やスクールカウ
ンセラーなどはどのように対応し
ているのか。

▲ 教育長 いじめが発生した場
合、当該学校にいじめ防止の対
策組織を作り、その中で子供た
ちへの指導方針や先生の役割分
担を協議し、構成員のスクール